

## 基本理念

日本を代表するテニス施設として、スポーツ振興やテニス文化の普及、スポーツ実施率の向上、地域活性化に資する事業を持続的に展開し、「スポーツ都市東京」の実現に寄与します

### 「スポーツ都市東京」の実現に貢献

- 39年に渡る管理ノウハウと大規模施設の特性を活かした施設提供
- テニス文化普及とテニス人口拡大に向けスクール、イベントを開催
- 障害者を含めた誰もが気軽にスポーツを楽しめる環境を提供

### → スポーツの力で人と都市の活性化を目指す

### 東京2020大会のレガシー継承、スポーツの魅力を発信

- 東京2020大会レガシーを適切に継承
- 感動や達成感を与えるスポーツの魅力を発信

### → TOKYOスポーツレガシービジョンの実現に寄与

### スポーツ、文化交流の拠点として機能向上、地域活性化への貢献

- 新たな街づくりが進む有明エリアにおいて、スポーツレクリエーション及び文化交流の拠点として機能向上を一層図る

### → 地域の活性化に積極的に貢献

## 休館日・開場時間・利用調整・料金

### 利用者ニーズを踏まえて休館日・開場時間を設定

- 休館日は、大晦日、元旦、電気点検日を設定
- 開場時間は、9時～21時を基本とし、ニーズの高い季節や曜日は7時から開場、テニススクール開催時は23時まで開場
- 休館日や開場時間は、HP・SNS・デジタルサイネージで発信するとともに、利用者ニーズを踏まえて柔軟に対応

### テニス大会等の適切な利用調整

- 都の定める規程に則り、施設の利用調整を実施
- 国際大会・全国大会・都大会など、これまでの調整ノウハウを活かしながら、優先順位に基づき公平な利用調整を実施
- 細やかな利用調整により施設の有効利用、利用者増を促進
- イベント、コンサートなど、多目的な利用にも柔軟に対応

### 適切な料金設定・キャッシュレスの推進等

## 管理運営の6つの基本方針

### 方針1 スポーツ振興・テニス文化の普及

- 誰もが気軽に参加できるスポーツイベントの開催
- ニーズに沿ったテニススクール、障害者向けテニス講習会の実施

### 方針2 大規模施設の魅力向上と利用促進

- 国際大会等、大規模イベントに対して安定かつ確実に施設を提供
- テニス以外の施設利用にも柔軟に対応し利用を促進
- 都立スポーツ施設と連携し、有明エリアのスポーツ振興、活性化に寄与
- 海上公園と連携し、有明・臨海エリアの文化交流・地域活性化に貢献

### 方針3 利用者の安全を確保し、快適な空間を提供

- 日々の施設点検を徹底し、不具合は利用者の安全を第一に対応
- 大規模災害、一時滞在施設開設を想定した実践的な訓練を実施
- 新型コロナウイルス感染拡大防止のための対策を徹底
- 無料Wi-Fiエリアの整備を推進し、利用者の利便性を向上
- テニス施設と広場等を一体的に管理し憩い交流する場を提供

### 方針4 地球環境への配慮

- 環境負荷の少ない車両へ順次切替、グリーン電力購入を推進

### 方針5 東京都施策への積極的な寄与

- 「東京都スポーツ推進総合計画」など都施策に積極的な寄与
- DX推進に向けた5つのレスを徹底

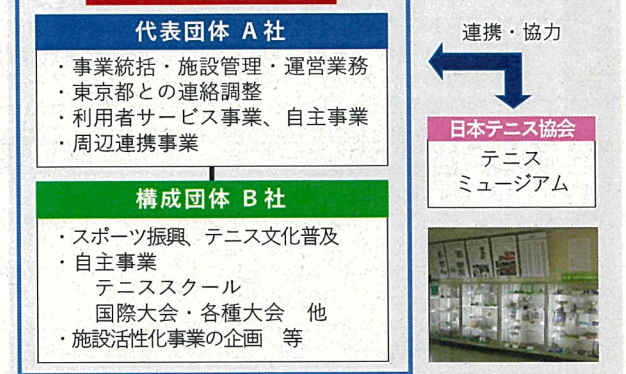
### 方針6 東京2020大会のレガシーを継承

- アーカイブ資産を次世代に継承し、施設やエリアの活性化を促進
- バリアフリーを推進し、障害者の利用を適切にサポート
- ボランティアが活動・交流する場を継続的に提供

## 専門的知見に基づく堅実な管理運営体制

- 施設の管理運営全般を担う代表企業のA社、スポーツ振興事業やテニススクールなど自主事業のイベント企画、運営を担うB社で構成するコンソーシアムによる管理運営
- A社、B社の専門的知見と長年に渡り培った運営ノウハウを活かし、質の高いサービスを提供
- 大規模大会や防災時は、臨海地区に本社を置くA社から応援スタッフを適宜派遣し、適切な体制により業務を遂行
- 行政代行者として、公平・公正な管理運営の遂行
- 多様なニーズに応えつつ、堅実で柔軟な管理運営を遂行

### 管理運営体制



## 施設ごとの提供方針

### 有明コロシアム（観客席10,000席）

- 誰もがテニスの試合を観戦し、体験できる機会を提供
- テニス大会時は施設を熟知したスタッフが常駐し、屋根開閉の制御、建物設備の監視を行い、安定的かつ確実に施設を提供
- ニーズに応じて、テニスコートと体育館仕様、イベント仕様に変換し、多目的利用が可能なスタジアムとして利用を促進

### ショーコート（観客席3,000席）

- 大規模大会のセカンドコート、中規模大会のメインコートとして幅広く認知してもらうことで新たな需要を喚起
- 多目的なイベント会場としても施設を開放

### インドアコート、屋外テニスコート（ハード31面、人工芝16面）

- 多様なライフスタイルやニーズに合わせ施設を提供
- 全てのコート日々のメンテナンスにより最高の状態に整え提供

### クラブハウス、コロシアム別棟、芝生広場、園路

- クラブハウスに「東京2020大会展示コーナー」、「テニスミュージアム」、「有明テニスの森ヒストリーコーナー」を設置、創意工夫を行いながら展示内容を充実させ、日本テニス界の歴史やテニス文化を発信
- コロシアム別棟、広場は、地域のコミュニティスペースとして開放
- 健常者と障害者が共に利用できるインクルーシブ遊具を広場に設置
- 園路にランニングコースを設置し気軽に運動を楽しめる環境を提供

## 施設内サービス

### 誰にも優しい施設案内、親しみと信頼感のある利用者接遇

- 施設や業務内容を熟知したスタッフを常時配置
- 障害者対応は、文字やピクトグラムで対応可能な配慮を表示
- 外国人対応は、「サインの多言語表記」に加えて「多言語翻訳機」や「QRによる自動翻訳機能」を活用し、適切に対応
- デジタルサイネージにより、コート空き情報、大会情報、イベント情報などタイムリーに情報発信を行い施設の利用を促進
- 飲食コーナー、テニスショップなど、便益施設の整備を促進
- テニス大会やイベント開催の間合せは、施設を熟知し、運営ノウハウを有するスタッフが的確なアドバイスを実施
- 苦情・要望は、施設での直接対応、ご意見箱など様々な手段により的確に把握、P D C A サイクル活動により業務に反映
- スタッフの能力向上のため、職場OJTのほか、接客接遇研修、バリアフリー研修、クレーム対応研修など、幅広い研修を実施



スポーツ振興事業、スポーツの日記念事業

「スポーツ都市東京」の実現に向け、東京都の施策に沿った事業を展開

- ① 有明の森スポーツフェスタ ■ するスポーツ ■ みるスポーツ ■ 支えるスポーツ  
健康と体力増強をテーマに「スポーツフェスタ」を開催、プロ選手によるテニス教室、車いすテニス体験、その他のスポーツ体験など賑わいを創出
- ② テニスの日イベント ■ するスポーツ ■ みるスポーツ ■ 支えるスポーツ  
「テニスの日推進協議会」と連携し、テニスの普及イベントを開催
- ③ 有明チームテニスコンペティション ■ するスポーツ ■ みるスポーツ  
テニスによる交流を目的とした「チーム対抗戦」を開催

- ④ 3人制テニス「とりぶるす」全国大会の実施 ■ するスポーツ ■ みるスポーツ  
幅広い年齢層（特にシニア層）を対象に新たなテニスの楽しみ方を提案するため、グリーンボールを使用した3人制テニス「とりぶるす」の大会を開催
- ⑤ スポーツ観戦事業の実施 ■ みるスポーツ  
テニス国際大会など、都民が無料で観戦する機会を提供
- ⑥ キッズ&ジュニアテニスカーニバル（スポーツの日記念事業） ■ するスポーツ  
テニス人口の拡大のため、子供たちを対象にレッスンイベントを開催



自主事業

施設の設置目的を踏まえ、誰もが気軽に参加できる自主事業を展開

- ① テニススクールの運営 ■ するスポーツ ■ 支えるスポーツ  
ジュニア・一般・車いすテニスなど、ニーズに応じた幅広いカリキュラムを用意しスクールを開講、夜間も開講し施設の有効利用にも貢献
- ② 国際大会・各種一般向けのテニス大会の開催 ■ するスポーツ ■ みるスポーツ  
レベルに合わせた各種テニス大会を主催し、テニスを通じてスポーツに親しむ環境を提供、あわせて競技力向上や試合参加への意欲を喚起

- ③ 展示コーナーの運営（東京2020大会、テニスミュージアム等） ■ みるスポーツ
  - 「東京2020大会展示コーナー」の運営  
大会ゆかりの品や資料を展示するとともに大会を経験したスタッフが競技施設を巡るツアーを行い、大会の記憶を後世に継承
  - 「テニスミュージアム」、「有明テニスの森ヒストリーコーナー」を新設  
（公財）日本テニス協会と連携し、日本テニス界の歴史を貴重な資料展示により紹介、当施設の歴史やテニス界への貢献、ステータスも広く紹介

周辺・都立スポーツ施設連携

周辺及び都立スポーツ施設のネットワークやノウハウを活かした地域振興・スポーツ振興により施設のポテンシャルを最大限に発揮

- ① 海上公園との連携  
周辺マップ、フォトコンテスト、ガイドツアー、広報など広域に連携
- ② 地域と連携したボランティア活動  
近隣の方々と環境美化・花壇活動など、ボランティア活動を推進
- ③ 地域コミュニティ活性化事業  
芝生広場や別棟で、地域・企業等の方々が交流する場として多目的な利用を推進、共生社会の実現に向けインクルーシブ遊具やベンチを設置

- ④ バラスポーツの普及振興 ■ するスポーツ ■ 支えるスポーツ  
障害者スポーツセンターと連携し、車いすテニスジュニア選手強化教室を開催
- ⑤ 複数施設でのイベント開催連携（構想中の取組み） ■ みるスポーツ  
複数の都立スポーツ施設が連携したイベント開催を積極的に推進
- ⑥ イベントライブ中継連携（構想中の取組み） ■ みるスポーツ  
イベントのライブ中継システムの導入とネットワークを構築し、インターネット環境でイベントを相互にリアルタイムで視聴できる環境を提供

利用者サービス

利用者目線でのサービスを積極的に展開

- ① テニス施設専用駐車場の運営
- ② 売店・飲食施設・自動販売機の運営
- ③ 宅配便サービス事業
- ④ 大会ごみ処理受付
- ⑤ 園内撮影許可・受付
- ⑥ 無料Wi-Fiの提供
- ⑦ テニス競技用車いすの貸出 ■ 支えるスポーツ
- ⑧ テニス用球出し機の貸出 ■ 支えるスポーツ



広報

テニスの中心地としてテニスの魅力をタイムリーに発信

- ① SNS（HP、Twitter、Instagram等）を活用し、施設の情報をタイムリーに発信
- ② HPで閲覧可能な座席検索システム・パノラマビュー等の運営 ■ みるスポーツ
- ③ 当施設で行われる大会情報等をイベント紹介サイトと連携し効果的な広報を実施
- ④ B社のネットワークを活用し、関東近郊の加盟事業を通じた広報活動の実施

組織・執行体制

効果的かつ効率的な執行体制の確保

- A社本社に指定管理者事業を統括し、東京都等の連絡調整、目標管理・進行管理、評価、業務改善を実施する「マネジメントチーム」を配置、当施設と一体となった指定管理業務を推進
- A社から「施設長」を配置、利用者対応、施設維持業務を担うスタッフを配置するとともに、B社からスポーツ振興、テニススクール等の自主事業等を担う「業務責任者」を配置

維持管理・修繕

利用者の安全・安心を最優先にした施設維持管理

- 管理実績のノウハウを結集した「維持管理ガイドライン」に基づく施設の維持管理を実施
- 「維持管理ガイドライン」を活用し、予防管理の手法を取入れた「パークメンテナンス方式」により利用者に影響を与える前に着実に対応

危機管理

事故への備え、新型コロナウイルス感染症対策等

- 事故に備え、全スタッフが自衛消防認定・上級救命技能認定を取得
- 大規模災害に的確に対応するため、「大規模地震発生時初動対応マニュアル」・「緊急時アクションマニュアル」に基づいた訓練を実施、発災時は「東京臨海広域防災公園」と連携
- 東京都感染拡大防止ガイドラインに基づき対応（消毒・マスク着用徹底・AIサーマルカメラによる検温）
- 暑熱対策として、暑さ指数の掲示・塩飴配布・ミスト発生器の設置等、利用者の安全に配慮

収入確保に向けた取組

支出削減に向けた取組

- 利用者ニーズに対応しテニスコートの早朝（7～9時）利用を実施
- 早朝利用見込：
- コロシウム、ショーコートの利用促進を図るためプロモーション活動を実施
- 稼働率向上のため施設の空き情報を常に公開

- 修繕費を前回計画額から新規改修を鑑み 圧縮
- 緑地管理等、海上公園の管理を担うA社のスケールメリットを活かした委託発注により費用を圧縮
- 簡易修繕は、機動補修チームが直営で修繕

収支計画の考え方

効率的な執行により東京都の財政負担を軽減

- 収入は、過去の実績をベースに実現可能性を考慮し計上
- 支出は、人件費・事業費・間接費の必要額を計上
- 計画的な修繕が必要となるテニスコートのサーフェスは、工事費を平準化し計上
- 利用者サービス事業・自主事業により得た収支差額は、施設維持のための経費に充当
- 赤字は発生した場合は、チーム内の内部努力により補填しサービスレベルを維持
- 黒字が発生した場合は、施設の価値向上や魅力向上、利用者の利便性向上につながる取組みを行うなど施設に還元

指定管理料：49,817千円

事業の提供

施設・事業の運営基盤

収支計画